

在宅取組型+体験活動参加型 (小学校)

学校名等	恵那市立上矢作小学校
実施日時	令和元年12月14日(土)
会場	恵那市立上矢作小学校
参加人数	全校児童69名 家庭教育委員7名 職員15名
学習課題(分野)	「おにぎりの日」
運営者の願い	高学年の子が作ってくれたお米を、みんなでおいしくいただきたいという思いから、「おにぎりの日」を始めた。中学生になると、お弁当を自分で作るので、「おにぎりの日」に取り組んだことで、小学生のみなさんも、おにぎりを自分で作れるようになるといいなと思っている。

学習の内容

おにぎり作りを通して親子のコミュニケーションが生まれる家庭教育学級

<活動について>

上矢作小学校では、毎年、高学年の子が、地域の方に指導していただきながら、米作りを行っている。そして、その米作りで収穫したお米を使って、「おにぎりの日」の取組を行っている。「おにぎりの日」に向けて、おにぎり作りを、家でも練習し、当日は、全校児童が、学年縦割りのグループになり、家庭教育委員の方の指導で、高学年の子が低学年の子を手伝いながら、みんなでおにぎりを作ってグループで楽しく食べた。



家庭教育委員の方と一緒におにぎり作り



1・2年生も
自分のおにぎりを
自分でにぎり
ました



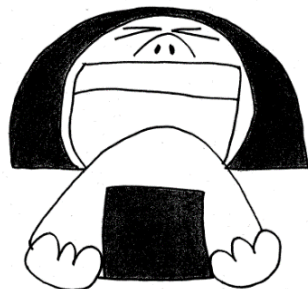
縦割りグループで楽しく食べます

<活動の内容>

- 9:00 家庭科室でご飯を炊く。海苔と塩と具(梅干し・昆布・鮭)の準備をする。
- 10:10 各教室で、手洗い・エプロン等の準備をする。
- 10:20 家庭教育委員からおにぎりの握り方を説明してもらう。
自分のおにぎりを握る。
- 10:35 よくかんで、味わい、感謝の気持ちを込めてみんなで一緒に食べる。
- 10:45 片付け

「おにぎりの日」のために、子ども達は家で、おにぎりを握る練習をした。「おにぎりの日」が終わっても、お父さんが仕事に持っていくおにぎりを握ってあげる子がいた。おにぎり作りを通して、親子の温かいコミュニケーションが育まれている。

12月14日(土)おにぎり作り



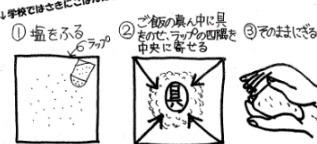
「おにぎり作りの日」

- ・5年生が収穫したお米を味わおう!!
- ・みんなと楽しくおにぎりを作ろう!!

上矢作小学校 家庭教育委員会

毎年行ってきた「おにぎり作りの日」。今年も、「なかよしグループ」のみんなとおにぎりを作ります。5年生が収穫したお米で、おいしいおにぎりを作りましょう!
ラップを使ったおにぎり作りです。作り方をのせます。簡単な作り方なので、土・日などに練習してみるのもいいですね。

↓学校ではさきにごはんにませませ。



- 先に塩をふるのは、塩がついた部分のご飯が外側になるので、少量でも塩味を感じるからです。
- 当日は「鮭フレーク」「こんぶ」「梅干し」の具があり、好きなものを選びます。

おにぎり作りを家で練習することを家庭教育委員会のお便りで呼びかけました



感謝の気持ちが育つ

高学年の子が収穫したお米でおにぎりを作ってみんなで一緒にいただくことで、「高学年の子」「指導して下さった地域の方」「握り方を教えて下さったおうちの方」に対して、感謝の気持ちが育った。



親子のコミュニケーションを育む

「おにぎりの日」のために、おにぎり作りを家で練習することで、親子のコミュニケーションが深まった。



活動後もよさが広がる

「おにぎりの日」の後に、家族のためにおにぎりを作るという取組があり、家族のコミュニケーションがさらに深まる活動だった。

